

会議概要

- 1 審議会名 上田市子ども・子育て会議
- 2 日時 平成26年3月26日 午前・**後** 1時00分から午前・**後** 3時00分まで
- 3 会場 ひとまちげんき・健康プラザうえだ
- 4 出席者 金山会長、堀江副会長、飯島委員、大塚委員、神原委員、清水委員、白瀬委員、  
下村委員、田口委員、武田委員、田畑委員、中村委員、牧内委員、丸山委員、  
水野委員、宮下委員、宮本委員、矢ヶ崎委員
- 5 市側出席者 田口こども未来部長、宮沢保育課長、倉島学校教育課長、  
樋口子育て・子育て支援課長、両角保育担当課長補佐、堀内保育担当係長、  
津久井放課後こども育成係長、古川子育て・子育て支援担当課長補佐、  
堀内子育て・子育て支援担当係長、井出主査、古畑主査
- 6 公開・非公開等の別 **公開** ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 3人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 26年3月28日

協議事項等

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事 (進行 金山会長)
  - (1) 「上田市子ども・子育て支援事業計画」策定ニーズ調査について【資料1】

質疑  
(委 員): アンケート対象者抽出時の児童数について教えて欲しい。  
(事務局): 平成26年2月1日現在、就学前児童7,845人、小学生8,794人の中から対象者を抽出。
  - (2) 「子ども・子育て支援事業計画」の基本構成案について【資料2】

・この計画は、全ての面について新しい内容を策定するものではない。平成27年度に終了する「上田市次世代育成支援後期行動計画」を継承する側面を持つ。

(委 員): 夜間保育についてはどのように考えているか。  
(事務局): 現在の上田市における夜間保育のニーズについては、少ないと認識している。  
現在、2つの認可外保育施設が夜間対応を行っている。今回のアンケート調査の結果により、必要性が高いとなれば改めて検討したい。

(委 員): 「保育の量の見込み」を計画に記載するにあたり、3号認定(0.1.2歳)の量の見込みは難しいと思う。どのように対応するのか。  
(事務局): 国からアンケート結果からの算出方法が提示されているが、内容は大変難しいものである。実際の算出については専門家を有する業者と業務契約をしている。

(委 員): 病児・病後児保育について聞きたい。現在、市内に1箇所が設置されている。今後は、さらなる設置を検討しないのか。  
(事務局): 今回のアンケート調査において「病児・病後児保育」に関する設問を設定してある。この結果により検討させていただきたい。

(委 員): 様々なことについて、国の大きな制度の中で動いていくことはやむを得ない。  
新制度において、国は「量の確保」に重点をおいている。しかし、長野県における待機児童の問題は大都市圏のように大きくない。国は、新制度において質の向上を図るといっているが、その内容は具体的ではない。今の上田市の保育をより良くするためにも、アンケートに書かれた様々な意見を事業計画の中に取り入れていただきたい。

(委 員): 「保育の量」についての話題が多いと感じる。日ごろ、子育て家庭の支援をしているなか

で、「入園前の親子への支援」や「小学校入学後の放課後の過ごし方」への支援の大切さを感じている。

(委員): 放課後児童対策における質の向上を図るような計画としていただきたい。

(3) 今後の協議日程について【資料3】

- ・ 条例や基準など決めなければならない内容が大変多い。
- ・ 全体会と部会に分けて審議をしていただく。

質疑

(委員): 保育士等の資質向上を図ることについても検討して欲しい。保育・教育というものは対面的なもの。上田市独自の資質向上を是非考えて欲しい。

(委員): 地域型保育事業の認可関係、施設型給付に係る確認事務について質問したい。今後、上田市における「保育の量の見込み」について十分に確保されていると判断した場合、これ以上の施設の認可等を行わないのか。

(事務局): 今のところ、国より認可基準を満たす限りは、認可をするように説明されている。また、認定子ども園の4類型全てが事業計画における「保育の量の確保」に含まれる。

4. 事務連絡

5. 閉会

